

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2018年4月24日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

Caterpillar 2018年 第1四半期業績を発表

見通しを上回る売上高と第1四半期で過去最高の1株当たり利益を達成、
通年の見通しを上方修正

(単位: 10億ドル、但し1株当たり利益除く)	第1四半期	
	2018	2017
売上高	\$12.9	\$9.8
1株当たり(損)益	\$2.74	\$0.32
調整後1株当たり利益	\$2.82	\$1.28

- ・ 2018年第1四半期売上高は31パーセント増
- ・ 1株当たり利益は大幅増、調整後1株当たり利益は2倍以上
- ・ 通年の1株当たり利益の見通しを上方修正
- ・ 普通株5億ドルの自社株買い

(イリノイ州ディアフィールド発) - Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日、2018年第1四半期の業績を発表し、第1四半期売上高は129億ドル(前年同期は98億ドル)となりました。同最終利益は1株当たり2.74ドルで、第1四半期では過去最高となりました。前年同期の1株当たり利益は0.32ドルでした。2018年第1四半期の調整後1株当たり利益は2.82ドル(前年同期は1.28ドル)でした。

Caterpillarの財務状況は引き続き堅調です。機械およびエネルギー・運輸(ME&T)事業の2018年第1四半期における営業キャッシュフローは9億4800万ドルで、5億ドル相当のCaterpillar社の普通株を買い戻しました。結果、全社現金残高79億ドルで2018年第1四半期を終了しました。

CaterpillarのJim Umpleby(アンプレビー)CEOは、「素晴らしい成果を達成してくれた世界中のCaterpillarのチームに感謝します。多くの当社のエンドマーケットが好調であるのに加え、当社のチームがコスト管理を含むオペレーションの卓越性に継続的に注力してきたことにより、利益改善と第1四半期で過去最高の利益を実現することができました」と述べました。

2018年見通し

当社は1月に、2018年の利益見通しは1株当たり7.75ドルから8.75ドルの幅と発表していましたが、製品・サービスの需要拡大を主因として、2018年の利益見通しを1株当たり9.75ドルから10.75ドルの幅に引き上げます。見通しには、前回の見通しから変わらず、約4億ドルの事業再構築費用を含みます。

アンプレビーCEO は、「第 1 四半期の好調な実績と全地域及び大半のエンドマーケットでの高い需要を受け、2018 年の見通しを引き上げます。Caterpillar の長期的な『利益ある成長』に向けた戦略に沿って、お客様へのソリューション提案の強化とサービスの拡充に継続的に投資していきます」と述べました。

以下は、前年と比較した 2018 年の販売面での前提の概要です。

Construction Industries（建設向け）－北米における引き続き堅調な建設活動と中国におけるインフラ開発が最大のけん引役となり、2018 年は全地域において広範な成長を見込んでいます。EAME（欧州・アフリカ・中東）は、高い企業景況感と産油国の安定を背景に、引き続き成長を見込んでいます。ラテンアメリカにおける回復は継続する見込みです。

Resource Industries（鉱業向け）－世界経済の状況と良好な資源価格の水準により、2018 年は機械更新サイクルと拡充の両方で鉱山各社による設備投資が増加するとみえています。また、機械稼働率の高まりは、アフターマーケット部品の販売拡大につながります。グローバルでのコモディティの高い需要が重機や砕石機にもプラスとなり、集客につながると期待されます。

Energy & Transportation（エネルギー・運輸向け）－北米での油井関連サービスおよびガス圧縮用レシプロエンジンの継続的な堅調な需要がけん引し、石油・ガス向けの販売は 2018 年に増加すると見込んでいます。石油・ガス中流事業に支えられ、タービンの受注残は依然として健全です。北米では、鉄道輸送が増加し、不稼働の機関車や鉄道車両の数が減少していることから、運輸分野の売上増加は、主に鉄道サービスの拡大によるものになると予想しています。数年間低迷が続いた発電分野の売上は、世界経済の改善に伴い、増加すると見込んでいます。産業用エンジンの販売は、主に EAME（欧州、アフリカ、中東）での需要増加により、2018 年は上向くと予測しています。

以下に、改訂後の 2018 年業績見通しの重要要素を列挙します。

- ・ 販売台数が予想を上回ったことが、見通しの上方修正の主な要因であり、3 つの主要セグメント全体で前年の見通しよりも販売台数が増加する見込み。
- ・ 販売価格の改善は、資源価格上昇を主因とする製造コスト上昇により部分的に相殺される。
- ・ 販売台数は増加する見込みではあるが、短期インセンティブ報酬費用を除く期間原価は、前年の見通しの範囲内となる見込み。
- ・ 短期インセンティブ報酬費用は、2017 年とほぼ同等の約 14 億ドルとなる見込み。
- ・ 本見通しでは、継続的な世界経済の成長を想定している。将来的な地政学リスクや貿易制限の拡大による潜在的な影響は含まれない。

本見通しには、年金および年金以外の退職後給付（OPEB <Other Postretirement Employee Benefits>）プランの再評価に伴う時価評価損益、および 2017 年米国税制改革で計上された暫定引当金の変更は含まれません。

以 上

キャタピラー社について：

建設機械の歴史は、1925 年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。また、1963 年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。